

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2274200639		
法人名	有限会社 エムサービス		
事業所名	グループホームやよい苑(1Fユニット)		
所在地	静岡県静岡市駿河区登呂4丁目27-29		
自己評価作成日	平成31年4月19日	評価結果市町村受理日	令和元年9月17日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaisokensaku.nhiw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kani=true&amp;jiyosyoCd=2274200639-008PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaisokensaku.nhiw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kani=true&amp;jiyosyoCd=2274200639-008PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	令和元年 6月5日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

・登呂遺跡公園が目前にあり、とても環境が良く、地域資源に非常に恵まれたグループホームです。  
 ・職員教育に力を入れており、資格取得・研修などでスキルアップを図り、地域に貢献できるグループホームを目指しています。  
 ・御家族やご利用者様、職員との信頼関係を深める為に、年に1回親睦会を行っています。  
 ・利用者様への支援として外出の機会多くしており、できる限り毎日、日光浴や散歩へ行きま

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

登呂祭りは開設から15年続けて地域の一員として関わっていて、利用者が売り子になって蜜柑を販売するなどの「ふれあいの時間」があります。楽寿会(老人会)は運営推進会議へ毎回出席くださり、事業所でも皆さんに年1回生け花教室などを提供してきており、今年度は「お孫さんにお年玉をあげたりするとき〜と、「折り紙でのポチ袋を作ろうか」との企画が進んでいて、さらなる弾みが見られます。また近隣のうどん屋の店先に地域の人のためのコーナーがあって、そこに利用者のクラフト作品を置かせてもらったところ、生産が追いつかないほどはけて、本人の励みになったという嬉しいエピソードも近年誕生しています。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社員証に記載。また施設玄関にて理念を掲示し共有を図る。 運営会議などでも理念の基本を話します。 H30年度は1年毎回ユニット会議資料に毎回理念の内容も含めて意識して貰えるようにした	ユニット会議でプリントを配り読み合わせをしたり、理念に基づいて個々に目標を作ることで浸透を図っています。また年度末の運営推進会議には理念を刷り込み、地域や家族の皆さんにも改めて話す機会を持っています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	毎日の公園散歩や登呂祭りで地域との交流が図れます。2ヶ月に1度の運営会には町内会長や民生委員、楽寿会に参加いただき関係を深めています。	地域の登呂祭りでは利用者が売り子になって蜜柑を販売したり、楽寿会(老人会)の皆さんと一緒にクラフト作りをおこなったりと、地域に根差した活動を脈々と続けていますが、今後は異世代交流は課題です。	地域の保育所、小・中学校との交流が進むよう、一度挨拶に出向くことを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営会議を中心として情報発信をしています。楽寿会(老人会)との意見交換も行い、認知症や介護の考え方を発信し、疑問・質問などにも応えています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営会議を通して地域情報を得たり、当苑の状況を説明し、民生委員の方や地域包括の職員の方からアドバイスを頂き、サービスの向上に繋がっています ご家族からはアンケートによりご意見を頂いております	運営推進会議は地域、行政、家族とメンバーを揃えて隔月開催が叶っています。メンバーはそれぞれ多忙で参加率が良いとは言えない状況にあり、事業所では役に立ちそうな資料を用意してミニ講座をおこなう等の工夫を試みしています。	おやつ試食や、高齢者レクの体験等アクティビティも取り入れ、活発な場となることを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営会議を通して地域包括の方と連携をとる事により、市との連携を図っています。 又、必要に応じて生活支援課、介護保健課、社会福祉協議会の方との連絡や相談をしています。	本人も家族も金銭管理でにくい利用者が3名おり、静岡市社会福祉協議会から権利擁護の担当者が毎月1度訪問くださっています。生活保護者が3分1程いるため、年1、2回生活支援課職員が面談に訪れてくださっています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の講習及び身体拘束ゼロの手引き等を業務マニュアルに載せ、身体拘束をしない、させないケアに取り組んでいます。	昨年の法改正の指針は静岡市に提出し、研修2回も実施しました。3要件に関しても職員間で話し合うことを重ね、記録もとっています。管理者をはじめ職員は皆穏やかで、利用者の意向を聴く姿勢に満ちていることを視認しました。	法改正の書類は記録の取り方等あらためて見直したうえで、1冊にまとめておくと良いと思います。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の講習内容を業務マニュアルに載せ職員に情報提供する事により虐待防止徹底を図っています。 H31からはコンサルタントによる個別面接等も行いながら職員のメンタルケアを行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護と成年後見人制度について、講習内容を職員に情報提供する事により周知し、運営会議等で現状の話し合いを行いました。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所希望時の説明は小澤が行いその後の利用者様の面接、アセスメント等はリーダー若しくはサブが行います。契約書、重要事項説明書や入所時の説明等は小澤とリーダーが文書を持ってご説明いたします。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ケアプラン作成時には、ご家族に意見やご希望を聞きます。運営会にはご家族様からアンケートを頂き、また親睦会に於いては直接の声を聞かせて頂き各ユニット会議に反映させています。	毎月の請求書には1ヶ月の現状報告として一筆箋へと居室担当がしたためて、家族に届けています。年1回地域の人も加わった集いの場もあり、家族アンケートも独自で取組んでおり、今後は「何をどう改善したのか」も明瞭に告知していきたいとしています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	リーダー会議やユニット会議にて意見提案を聞き反映させています。その他職員アンケート、コンサルタントによる個別面談や意見メールの情報を収集し、運営に反映させています。	3年ほど職員アンケートの実施に取組んでおり、それぞれが忌憚ない意見を挙げていることを書面確認しました。また第三者として意見を吸い上げる外部の仕組みを利用できるよう手配して、メールを通じて職員が気軽に活用できています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得に援助を行い意識向上を図っています。H31年度より契約更新手続きをとるようになり、有給や処遇改善等の働き方について、コンサルタントを入れて整備をする取り組みを行っているところです。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得等の援助を行います。ユニット会議等で社内教育に取り組んでいます。また、近日にある外部研修の紹介をします。個別面接やアンケートを通して個々の希望にも配慮しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修及び地域グループホーム協議会との交流を通じて得た情報を会議に於いて還元しサービス向上の取り組みを行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期段階では入所時の面接、基本情報やアセスメントまたは前の施設やケアマネの情報などを各ユニット職員と共有し信頼関係を築いています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期段階においてはアセスメント、基本情報を職員間で共有し、「又家族の問診票」を通して御家族の事情についても耳を傾け信頼関係を築ける様に努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当者を定めて入所時の情報から必要な支援の見極めをし、ケアマネやご家族と相談し対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	認知症介護の基本及びグループホームの持つ役割を教育し、利用者との関係を構築しています。 家事や収穫の手伝いなど		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	運営会等を通じてご利用者様は、御家族と一緒に支え合う事を説明。ご家族へアンケートを書いて貰いご意見を聞きながら関係を築いています。また、スタッフ思い・ご本人の思いもケアプラン説明時にご家族に話し支え合う関係を築いています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出やお墓参り等を御家族様と協力し行っています。 手紙や年賀状、電話の支援を行っています。	珈琲を飲む習慣のある人と自販機を求めてでかけたり、小さな買い物でストレスを発散してもらったりと、その人に合わせて支援しています。養鶏場を経営していた人は卵掛けご飯が日課だったので、家族の協力を得て新鮮な卵を届けてもらったことも過去の例としてあります。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	御利用者様個々の状況を把握し、御利用者様同士が関われるよう努めています。難しい方には、職員にて対応して孤立しないように配慮をしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	移転先等にも伺い関係を持続するようにしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ユニット会議やケアプランを活用し 思いや意向の把握に努めています。	直接会話が成り立つ人からはできる限り意向を聞き取り、話のやりとりが難しいときは本人をよく知る居室担当者が代弁しています。それらは毎月のユニット会議で意見交換が重ねられ、職員間で共有できています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初期段階は「責任担当者による」聞き取りの アセスメント、又は家族の間診票やご利用者様のお話によるこれまでの生活情報を職員間で共有し把握するよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ユニット会議において担当者を中心に日常の様子や状態の情報を職員間で共有し ケアプランに反映させて支援します。 また、その現状をモニタリングにおいて把握します。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当ケアマネジャーがユニット会議において御利用者様の支援についての経緯と課題を、聞き取り、御家族のお気持ちと合わせ検討しながら介護計画を作成しています。 その後の実施についてはモニタリングし、次回の介護計画に反映します。	介護支援専門員も年々増え現在6名おり、介護計画書の作成も分担できるほどに成っています。 モニタリングは赤字で加筆したり、サービス担当者会議にはほぼ全ユニット職員が参加していて「チームでつくる」に叶っています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日報記録や往診記録を基に生活チェックリストを作り支援しています。 ユニット会議で御利用者様の状況を把握して職員間で情報を共有し、介護計画や生活チェックリストの見直しをしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	スタッフの配置に考慮し、柔軟に対応する状況を構築しています。 収穫の手伝いや緊急時、ご家族のいない方の受診介助を行います。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	登呂遺跡公園や地域の人達とのふれ合いにより、支援をしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及びご家族の希望を基本として受診援助を行っています。それ以外の御利用者様も当苑協力医院の往診を受け、安心した支援を行うよう努めています。	週1回来訪して18名診てくださる協力医に全員が変更しており、専門医の通院介助は家族にお願いするも、無理となれば職員が代行しています。訪問診療にはその日の勤務者が立ち合い「訪問診療記録表」に記録を残しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員との申し送りや、連絡帳を通して看護師との連携をとっています。 その他かかりつけ医の看護師の意見も頂きながら支援しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には介護サマリで情報を提供し退院時には病院に出向き、必要な注意事項を聞きます。 又病院からの看護サマリの情報を、担当医や職員と共有します。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時重要説明書にて対応の説明と御家族の意見書において、お気持ちを把握しておきます。状態が重度化した時、担当者より再度具体的に説明を行い支援していきますが、基本的には様御家族様と協力して重度化に対応する事を原則としています。	看取りはおこなうとして「看取り介護の意向確認書」を契約時に家族と交わしていますが、看取りについては家族にも泊まってもらうなどの協力をお願いしているためか、実際取組んだことはありません。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルに従い講習や研修で実践力を身につけるように努めています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練等で実践力を身につける様に努めています。 またその際に火災時の通報や非常ベルの方法を周知します。	年2回法定訓練を実施していて、「握って」「押してみよう」と職員が指南すれば一緒におこなう利用者もいます。訓練の日の出勤者で役割分担したシナリオを予め用意し、用意周到な訓練が実現しており、防災袋の中身もリスト化してあります。	夜間想定(職員2名でどう対応するのか)で一度おこなうことを期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	マニュアル及びユニット会議で教育を行っています。	10年以上の勤務者が半分くらいいて、利用者に対しても、また職員間でも親しすぎる面は否めませんが、概ね穏やかで優しい対応をする職員ばかりで、安心感が湧きます。利用者もオープンで、外部者とのふれあいが日常にあることが覗えます。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	マニュアル及びユニット会議で認知症に対する教育を行っています。 言葉がけを、ご利用者様の残存能力に応じて開かれた質問と、閉じた質問を使い分けて希望の表現や、自己決定の支援をします。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ユニット会議において利用者様一人一人の対応について振り返りや意見交換を行います。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	それぞれ御利用者様やご家族にお任せしておりますが、御利用者様が困った時やご自分で出来ない方には支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様にお好きな物を聞いたり食事の準備等が出来る御利用者様にはお手伝いをお願いして一緒に楽しめる様に支援しています。	職員個々に得意メニューがあって、その日の担当者によってバラエティ豊かな献立が提供されています。たこ焼き器やたい焼き器を活用したおやつの日もあり、煮物の味付けを担当する利用者もいて、97歳の女性利用者が「毎食完食です」と自慢する姿は微笑ましくもあります。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の摂取量を記録しています。 水分摂取の把握の方法については検討中です。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	御利用者様に応じて、ご自分で出来る方には準備の支援を行い、ご自分で出来ない方には、マウスウォッシュ等を使いながらい歯磨きの支援をしています。 毎週水曜には歯科往診による口腔ケアを行います。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	時間を決めて声をかけて促し、又は誘導するなど御利用者様に合った支援を行っています。 排泄用品もご利用者様に応じて使用しています。	共用空間は縦に長い居室配置となっていますが、トイレは3箇所での十分な配置(職員用はまた別に1つ有)で、「短い距離で」との配慮が見られます。便座の温熱等の故障もリニューアルで刷新され、便秘は看護師と連携をとって改善に向けています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	医師や看護師との連携をとり、便秘予防の対策を行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	午前中の中入浴介助を3名程度として一人に関わる時間をゆったり取り個別ケアが出来る様にしている。 午後、夜間の希望にも対応します。	週2日を目安に、午前の時間帯に入浴しています。3面から脚を入れることができるゆったりした浴槽で、重度化しても2人介助で湯に浸かる喜びを味わってもらえています。また柚子湯などの変わり湯もおこなっています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	部屋の明るさや、体位変換の困難な方のポジショニングなど、御利用者様に合った支援を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	2週間に1度の医師の往診もと薬が処方され、看護師が日ごろの様子を検証します。 精神科については職員が日常の様子を医師に伝え、相談した上で処方してもらいます。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	御利用者様の趣味の支援や、嗜好品の購入の購入支援を行います。 また生活歴に応じて家事や買い物の支援を行います。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	登呂公園の散歩、ショッピングセンターやドラッグストア、スーパー等でお買い物支援を行います 季節ごとのドライブやお誕生日の夕食の支援を行います。	回転寿司、蕎麦屋のほかパーキングエリアで好みのメニューを選んだり、毎年恒例行事として護国神社への初詣、桜の花見、花鳥園の日帰り旅行があります。日々の外気浴や散歩も盛んなことは、利用者の居室に日除け帽子がさりげなく置かれていることから伝わります。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御家族に理解を頂き対応出来る金額の所持を支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族に予め確認を取らせて頂き支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感のある絵や飾り、壁に折り紙で作った壁紙、デジカメで撮った写真を加工修正したもの等、スタッフの個人の技術や感性を活かし工夫をしています。	おやつレクやイベントなどで笑顔はじける写真も壁に連なり、折り紙細工の得意な職員が中心となって、愛らしいクラフトがそこかしこに彩を添えています。開設から15年となり、2階の床への防音や壁紙の張り替え、オーガンジーカーテンの導入と、環境を整える努力を確認しました。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご利用者様同士の会話が弾み、不快な思いをされない様に席の位置を考え、問題があった場合は変更も考えます。 またソファを置き過しやすい場所を提供します。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御家族の協力を頂きながら工夫しますがご利用者様の状態の変化によって変更する場合があります。	仏壇を持ち込んだ居室もありますが、大半は小さなチェストや椅子のみとの状況にあります。テレビが好きな人は専用のお洒落なソファを置き、自分だけの時間を大切にしている様子が感じられます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや出入り口に、ご利用者様が理解出来る様な表示や安全に誘導できる様に矢印等の表示をします。 ご自分の居室が分かる様に其々違った飾りや暖簾で個性を出しています。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2274200639		
法人名	有限会社 エムサービス		
事業所名	グループホームやよい苑(2Fユニット)		
所在地	静岡県静岡市駿河区登呂4丁目27-29		
自己評価作成日	平成31年4月19日	評価結果市町村受理日	令和元年9月17日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaisokensaku.nhiw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kani=true&amp;jiyosyoCd=2274200639-008PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaisokensaku.nhiw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kani=true&amp;jiyosyoCd=2274200639-008PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和元年 6月5日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

・登呂遺跡公園が目前にあり、とても環境が良く、地域資源に非常に恵まれたグループホームです。  
 ・職員教育に力を入れており、資格取得・研修などでスキルアップを図り、地域に貢献できるグループホームを目指しています。  
 ・御家族やご利用者様、職員との信頼関係を深める為に、年に1回親睦会を行っています。  
 ・利用者様への支援として外出の機会多くしており、できる限り毎日、日光浴や散歩へ行きま

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

登呂祭りは開設から15年続けて地域の一員として関わっていて、利用者が売り子になって蜜柑を販売するなどの“ふれあいの時間、”があります。楽寿会(老人会)は運営推進会議へ毎回出席くださり、事業所でも皆さんに年1回生け花教室などを提供してきており、今年度は「お孫さんにお年玉をあげたりするとき〜と、「折り紙でのポチ袋を作ろうか」との企画が進んでいて、さらなる弾みが見られます。また近隣のうどん屋の店先に地域の人のためのコーナーがあって、そこに利用者のクラフト作品を置かせてもらったところ、生産が追いつかないほどはけて、本人の励みになったという嬉しいエピソードも近年誕生しています。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社員証に記載。また施設玄関にて理念を掲示し共有を図る。 会議などでも理念の基本を話します。 H30年度は1年毎回ユニット会議に理念の用紙を配り意識して貰える様行いました。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	登呂公園散策が主ですが、運営会や、地域行事(登呂祭り)で地域との交流を図りながら、関係を深めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営会議を中心として情報発信をしています。楽寿会(老人会)との意見交換も行い、認知症や介護の考え方を発信し、疑問・質問などにも応えています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営会議を通して地域情報を得たり、御利用者様の状況を説明し、サービスの向上に繋げています。民生委員の方や地域包括の職員の方からアドバイスを頂いています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営会議を通して地域包括の方と連携をとる事により、市との連携を図っています。又、必要に応じて生活支援課、介護保健課、社会福祉協議会の方との連絡や相談、交流もあります。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の講習及び身体拘束ゼロの手引き等を利用し、身体拘束をしないさせないケアに取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の講習内容を職員に情報提供する事により、虐待防止徹底を図っています。個別面接等も行いながら、職員のメンタルケアを合わせて行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護と成年後見人制度について、講習内容を職員に情報提供する事により周知し、運営会議等で現状の話し合いを行いました。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	担当者を決めて実行しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ケアプラン作成時及び運営会で意見やアンケートをとって、運営会や各ユニット会議に反映させています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	リーダー会議やユニット会議にて意見提案を聞き反映させています。その他個別アンケート、個別面談にて意見の収集を図り反映させています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得に援助を行い意識向上を図っています。H31年より契約更新手続きをとるようにし、有給や処遇改善等をコンサルタントを入れて整備をする取り組みを行っているところです。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得等の援助及びユニット会議等で社内教育を行い職員教育に取り組んでいます。個別面接を通して個々の希望にも配慮しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修及び地域グループホーム協議会を通じて勉強の機会やコミュニケーションを図り、サービス向上の取り組みを行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期段階では専属の担当者やリーダー・各ユニットのサブリーダーを通じて、信頼関係を築いて安心確保に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期段階では専属の担当者やリーダー・各ユニットのサブリーダーを通じて、信頼関係を築いて安心して頂き、要望に耳を傾けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当者を定めて必要な支援の見極めをし、対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	認知症介護の基本及びグループホームの持つ役割を教育し、利用者との関係を構築しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	運営会等を通じてご利用者様は、御家族と一緒に支え合う事を説明。ご家族へアンケートを書いて貰いご意見を聞きながら関係を築いています。また、スタッフ思い・ご本人の思いもケアプラン説明時にご家族に話し支え合う関係を築いています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族様と協力し行っています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	御利用者様個々の状況を把握し、御利用者様同士が関われるよう努めています。難しい方には、職員にて対応して孤立しないように配慮をしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	移転先等にも伺い関係を持続するようにしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ユニット会議やケアプランを活用し 思いや意向の把握に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初期段階は責任担当者により聞き取りを行います。(アセスメントシート)その後は担当者及び他のスタッフがユニット会議等で御利用者様の言われた事を共有し把握するよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活様子を見て、聞いて、感じているスタッフに聞いて把握し、ユニット会議やケアプランを活用し、反映させて暮らしの現状をスタッフで共有し把握しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当ケアマネジャー及びスタッフより御利用者様、御家族様の声を聞き、ユニット会議にて他スタッフの意見等で内容を検討し、介護計画及びモニタリングを実施しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日報記録を基に生活チェックリストを作り支援し、ユニット会議で御利用者様の状況を把握して、職員間で情報を共有し、介護計画の見直しや、生活チェックリストの見直しをしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	スタッフの配置に考慮し、柔軟に対応する状況を構築しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	登呂遺跡公園や地域の人達とのふれ合いにより、支援をしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及びご家族の希望を基本として受診援助を行っています。それ以外の御利用者様も当苑協力医院の往診を受け、安心した支援を行うよう努めています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	当苑職員の看護師と協働し行っています。その他かかりつけ医の看護師や地域包括の看護師との意見も頂きながら支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関を通して行っています。又、個々にスタッフが見舞いに行つて状況を聞きに行つたりして支援しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時重要説明書にて内容の説明を行い、現実に発生しそうになる時、担当者より再度具体的に説明を行い支援に努めています。基本的に御利用者様御家族様と協力して行う事を原則としています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	講習や研修で実践力を身につけるように努めています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練等で実践力を身につけるように努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	マニュアル及びユニット会議で教育を行っています。しかし長年いると慣れが出てしまい、雑になってしまうことがあります。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	マニュアル及びユニット会議で教育を行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	マニュアル及びユニット会議で教育を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理解してそれぞれ御利用者様にお任せしておりますが、御利用者様が困った時やご自分で出来ない方には支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備等できる御利用者様にはお願いをして、食事を一緒に楽しめるよう支援に努めています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各御利用者様に応じて臨機応変に応えています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	御利用者様に応じて、できる方にはご自分でして頂き、自分で出来ない方には、マウスウォッシュ等を使ううがい歯磨きの支援をしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	よく理解して御利用者様に合った支援を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	医師や看護師との連携をとり、便秘予防の対策を行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	現在は8時50分から10時ぐらいまでに3人づつ入れております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	よく理解して御利用者様に合った支援を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	御利用者様をよく観察し、長期安定している時は、薬の事を医師に相談して減らして貰ったり、その都度症状により医師や看護師に相談し対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	よく理解して御利用者様に合った支援を行っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	自宅の利用、登呂遺跡公園、ショッピングセンターやドラックストア、スーパー等にスタッフが臨機応変にお連れし、支援しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御家族に理解を求め支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族に予め確認を取らせて頂き支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感のある絵や飾り、壁に折り紙で作った壁紙、デジカメで撮った写真を加工修正したもの等、スタッフの個人の技術や感性を活かし工夫をしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	理解して努力しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御家族の協力を頂きながら努力をしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	理解して努力をしています。		